

社長会見の概要

日 時：平成 22 年 9 月 2 日（木）16：00～16：45

場 所：首都高速道路株式会社 本社

社長会見発言要旨

2ヶ月が経ち業務内容も分かってきたこと・川崎線の開通も近いことから、この時期が適当だということで会見を開催した。今まで年2回の開催を年4回(4・7・10・1月の月末)で考えている。2ヶ月を振り返った感想は、まじめな会社・技術ノウハウの蓄積がある・国際経験のある社員が多い・街路整備など高速以外の業務もやっているというところ。また、新宿線の案内看板落下事故について状況説明と陳謝。

以下の項目については資料に沿って説明

新組織・技術部の設置。役員制度改革・執行役員制度の本格導入
最近の通行台数の状況
新規事業・トランクルームのオープン、与野利便増進施設について
川崎線の開通について
街路整備事業について

質疑応答

組織改革について。具体的な受注案件などがある上での改革なのか？

カンボジア・タイ・ベトナムなどへの国際展開をしているところ。具体的な受注案件がきっかけというものではない。

新料金について。対距離料金の導入についての考え方を教えて欲しい。

状況は不透明。距離別料金自体は公平で使いやすくお客様にとって良いものなので国の方針・関係地方公共団体と協議を進めていきたいと考えている。

新規事業のアイデアはあるか？

現在、スマートPAなどの実験などを行っているところだが、PA周辺地域と連携をとった事業展開をしていきたい。

技術部の組織人員・国道・地方道の維持修繕業務への展開を教えて欲しい。

組織については、スタートは現在の技術室とほぼ変わらない状況。国交省国道防災課(疲労対策)、川崎市(大師橋)の点検業務など。現在首都高の技術をアピールするため1ヶ月に1回地方自治体と勉強会を行っているところ。

以 上